



令和3年9月29日 ニュージーランド・ギズボーン市とオンライン交流会を行いました
左：「コロワイ」を羽織った栗市長 右：エドワード・ミルナーさん

ごあいさつ

令和3年10月7日

10月に入り、令和3年度の下半期がスタートしました。上半期を振り返りますと、新型コロナワクチンの接種対応に明け暮れた半年であったと思います。5月から開始した集団接種も、順調に進めることができました。現在は、接種券をお持ちの12歳以上の方すべてを対象に接種を行っています。

今後も希望される方が安心して接種できるよう努めてまいりますので、ワクチン接種へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

9月30日、石川県に発出されていた「まん延防止等重点措置」が解除されました。2か月にわたり、飲食店の時短営業や市公共施設の休館など、市民の皆さんにはご不便をおかけしながらも、ご理解とご協力をいただきましたことに、お礼を申し上げます。

全国各地の緊急事態宣言も解除となり、人の動きも活発になってくると思いますが、これまで同様、基本的な感染防止対策が大切です。「第6波」の心配もありますが、大きな波とならないことを願い、引き続き、皆さんのご協力をお願いいたします。

9月29日、姉妹都市でありますニュージーランド・ギズボーン市とオンラインによる交流会を開催しました。昨年、姉妹都市提携30周年を迎え、11月にストルツ市長とオンライン会議でお会いして以来の再会となり、近況報告など楽しい時間を過ごすことができました。

事前に贈ったプレゼント披露もあり、本市からは獅子頭を、ギズボーン市からは伝統的なマオリ族のマントである「コロワイ」をいただきました。羽毛使いで風格があり、リーダーや権威のある方が着る民族衣装ということで、ありがたくも、もったいない思いでありましたが、着させていただきました。市役所での展示に向けて準備をしておりますので、ご来庁の折には是非ともご覧ください。

4年間国際交流員として野々市市役所で勤務されたエドワード・ミルナーさんが9月末をもって任期終了となりました。イギリス出身のミルナーさんは日本語も堪能で、職員をはじめ多くの方に「エド」の愛称で親しまれ、「外国人のための日本語教室」や、広報コラム「エドのっティータイム」など、さまざまな国際交流事業でご活躍いただきました。ニュージーランドや中国の訪問などでは、通訳としても大変頼もしく、私自身、随分と助けられた思い出があります。

お別れは名残惜しく、寂しい限りですが、これからも東京でお仕事をされると聞いていますので、東京野々市会の交流でお会いしたいものです。エドのこれからのますますのご活躍をお祈り申し上げます。